

物量前年比4.4%増、歴史的実績に

■IATA統計・3月

国際航空運送協会（IATA）がまとめた統計によると、2025年3月の総貨物輸送量（貨物トンキロ=CTK）は前年同月比4.4%増で、3月実績として歴史的な成長率となった。国際貨物の輸送量は同5.5%増（表①参照）。主要航路であるアジア―北米線の貨物量が2月の微減から反転して、1クータ後半のプラス成長となった。米国が、越境eコマース（EC）で一般的に利用されている、関税などが免税されるデミニミスについて5月2日東部時間午前0時1分から中国（香港含む）を適用除外することを受け、駆け込みラッシュがあった可能性がある。

3月の世界の総供給量（有効貨物トンキロ=ACTK）は前年同月比4.3%増、貨物ロードファクター（LF）は0.1ポイント増の47.5%。

国際貨物の供給量は同6.1%増、貨物LFは同0.3ポイント減の53.7%。国際貨物輸送量を地域ごとに見ると、北米、欧州、アジア太平洋および南米では物量が増加したが、中東およびアフリカではマイナスとなった。中東では、前年同時期に、紅海での海上コンテナ輸送混乱による船落ち需要が急増していたことの反動減があったと見られる。

市場シェアの高い主要路線の荷動きは、アジア―北米が2月の微減から反転して前年同月比7.3%増（市場シェア24.4%）となったほか、欧州―アジアが同8.3%増で25カ月連続増（同20.5%）、欧州―北米が同8.5%

表① IATAの世界航空会社貨物輸送実績									
2025年3月実績(前年同月比)					24年1～3月実績(前年同期比)				
(単位:%)	市場 シェア*	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)	輸送量 (CTK)	供給量 (ACTK)	貨物LF (ポイント)	貨物LF (水準)
総合(国際+国内)	100.0	4.4	4.3	0.1	47.5	2.4	3.2	▲0.4	45.6
アフリカ	2.0	▲13.4	10.8	▲10.4	37.1	▲8.9	4.0	▲5.6	39.5
アジア太平洋	34.2	9.3	7.6	0.8	48.6	7.2	7.3	0.0	45.3
欧州	21.5	4.4	2.8	0.9	59.6	1.7	2.3	▲0.4	56.9
南米	2.9	5.6	5.2	0.1	39.5	7.6	7.8	▲0.1	36.5
中東	13.6	▲3.3	0.9	▲2.0	47.6	▲7.7	▲1.4	▲3.0	43.9
北米	25.8	3.7	2.6	0.5	40.7	2.6	0.4	0.9	41.4
国際貨物	87.3	5.5	6.1	▲0.3	53.7	3.1	4.6	▲0.7	50.8
アフリカ	2.0	▲13.4	10.5	▲10.5	38.1	▲9.0	3.3	▲5.5	40.9
アジア太平洋	30.6	9.6	11.3	▲0.8	55.2	7.5	10.3	▲1.4	51.5
欧州	21.0	4.5	2.0	1.5	62.1	1.7	1.8	▲0.1	59.2
南米	2.5	5.8	4.7	0.5	45.0	6.8	7.9	▲0.4	40.9
中東	13.6	▲3.2	0.8	▲2.0	48.0	▲7.6	▲1.4	▲3.0	44.3
北米	17.5	9.5	6.1	1.5	51.0	7.3	2.8	2.1	49.7

*市場シェアは2024年のCTKベース
CTK=貨物トンキロ
ACTK=有効貨物トンキロ
貨物LF=貨物ロードファクター

注) 地域別航空会社の貨物輸送実績増減。市場全体および地域別成長率は各航空会社の実績レポートおよび一部レポートの無いところは推測に基づく。なお、航空会社の輸送実績は登記上の国籍をもとに地域別に振り分けたものであり、該当する地域ごとの輸送規模を示すものではない

増で14カ月連続増（同13.3%）と荷動きの強さが見られた（表②参照）。

表②の路線ごとのデータには、経由貨物は分割されて計上されている。例えばアジア発中東経由欧州向けの場合、

「アジア―中東」および「中東―欧州」としてカウントされ「欧州―アジア」の実績には含まれない。

詳細は表①、表②の通り。

ウィリー・ウォルシュ事務総長は「3月の好調な貨物量は、米トランプ政権が4月2日に予定していた関税に先手を打とうとした一部の企業による前倒需要の可能性もある。同日に発表された関税案がどの程度実施されるかは不透明であり、最終的には貿易の重荷となる可能性がある」とする。

表② 主要レーンの貨物量成長率(25年3月実績)

路線	成長率	備考	市場シェア*
アジア―北米	7.3%	2月は0.5%減	24.4%
欧州―アジア	8.3%	25カ月連続増	20.5%
欧州―北米	8.5%	14カ月連続増	13.3%
中東―アジア	2.9%	—	7.3%
アジア域内	5.5%	17カ月連続増	7.0%
欧州―中東	▲7.5%	—	5.7%
欧州域内	▲5.2%	—	2.0%
アフリカ―アジア	▲40.2%	4カ月連続減	1.4%

*市場シェアは2024年通期のCTK実績に基づく

「一方で、燃料費は低下しており、航空貨物にとって短期的なプラス要因となる。また、(米国による関税引き上げの) 実施に関する一時的な休止期間中に、政治指導者たちが貿易の緊張を、グローバル・サプライ・チェーンの信頼性を回復できる、信頼性の高い協定へと転換できるよう期待している」(ウォルシュ事務総長)とコメントした。3月のジェット燃料価格は前年同月比17.3%減となり、9カ月連続で前年同月水準を下回った。